

# 幡多地域本部 地域産業クラスターの進捗状況等

## 水産業① 土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト(土佐清水市)

### 【H29の主な取組】 ※プラン策定 (H29.4)

- 全体：「土佐清水メジカ産業プロジェクト推進協議会」が発足、クラスタープランを策定  
 1次：新規就業者支援事業により5名が独立して就業、担い手育成団体（元気プロジェクト）で2名が研修中  
 2次：冷凍保管施設の実施設設計が完了、本体工事に水産庁の「水産業競争力強化緊急施設整備事業」導入決定、残渣加工施設の基本計画策定（施設規模等）  
 3次：「宗田節ロード2018」を展開、宗田節ロゴの作成、各種イベントで宗田節をPR

### 【H30年度上半期の取組状況と課題】

クラスターの核となる施設整備やプロモーション活動を支援

#### ▼取組状況

- 全体：クラスタープランの更新（5月）  
 1次：「土佐清水メジカ需給調整対策協議会」の開催（5月）、新規就業者支援事業等で3名が研修中  
 2次：冷凍保管施設の本体工事に着手（7月）、残渣加工施設の実施設設計に着手（6月）、宗田節加工業者への高知県版HACCP取得に向けた説明会の開催（7月）  
 3次：「第50回宗田節産地入札直売会及び宗田節祭り」の開催（4月）、高知龍馬空港での宗田節PR（8月）

#### ▼課題

- ・担い手の確保
- ・宗田節を活用した新商品開発

### 【H30年度の今後の取組予定】

- 1次：担い手の確保のため長期研修の継続  
 2次：冷凍保管施設の完成  
 3次：「宗田節ロード」の取り組みを継続、宗田節を活用した新商品の開発

## 水産業② 宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクト(宿毛市、大月町)

### 【H29の主な取組】 ※プラン策定 (H29.3)

- 全体：「宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクト推進協議会」がクラスタープランを更新  
 1次：クロマグロ人工種苗生産で、合計7,700尾を生産、うち2,100尾を養殖業者へ試験出荷  
 2次：道水グループが宿毛市で養殖クロマグロ、ブリ、マダイの加工を行う(株)高知道水を設立、加工施設の実施設設計が完了  
 3次：大月町で養殖クロマグロのプロモーション活動を行う「マグロのまち大月推進協議会」が発足、統一ブランド「大月産本マグロ」のロゴやキャッチコピーを作成したほか、マグロ祭りや、モニターツアーを開催

### 【H30年度上半期の取組状況と課題】

クラスターの核となる施設整備やプロモーション活動を支援

#### ▼取組状況

- 1次：クロマグロ受精卵等配付検討会の開催（5月）  
 2次：高知道水が加工施設の整備に着手（5月）、土佐西南丸が輸出に対応したHACCP認証の取得に向けコンサルティング受講（8月）  
 3次：「マグロのまち大月推進協議会」が地域のイベントで養殖クロマグロをPR  
 高知県養殖魚輸出促進協議会の会員企業が海外(シンガポール、タイ、ベトナム、香港)の見本市に出展(4～9月)

#### ▼課題

- ・生産拡大に向けた人工種苗の導入
- ・安定的な販路の確保・加工施設従業員の確保

### 【H30年度の今後の取組予定】

- 1次：クロマグロの人工種苗生産、出荷  
 2次：高知道水の加工施設の完成  
 3次：県外飲食店、百貨店での養殖クロマグロPR、マグロ祭りの開催、モニターツアーの実施

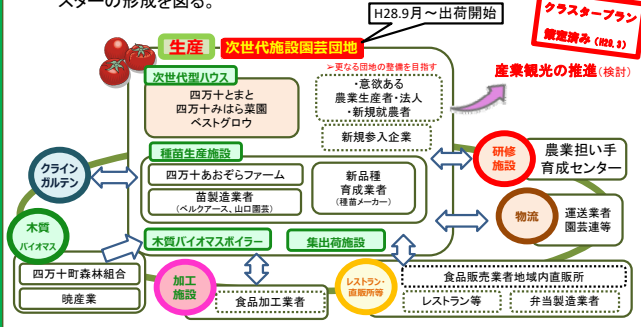
(注) 図中の点線で囲んでいる部分は想定です。実現に向けて、生産者団体や事業者、市町村等の関係者の皆様と検討を重ねていきます。

# 地域産業クラスターの形成 (展開図) ①

## 【農業】

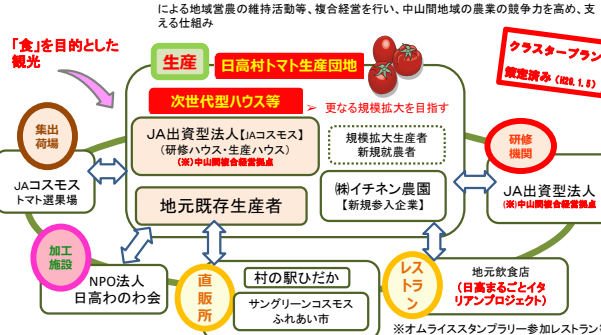
### ① 四万十次世代モデルプロジェクト(四万十町)

・次世代施設園芸団地でのトマト生産を核として、バイオマス供給施設、種苗供給施設、農産品加工・販売業者、地元レストラン等が連携し、クラスターの形成を図る。



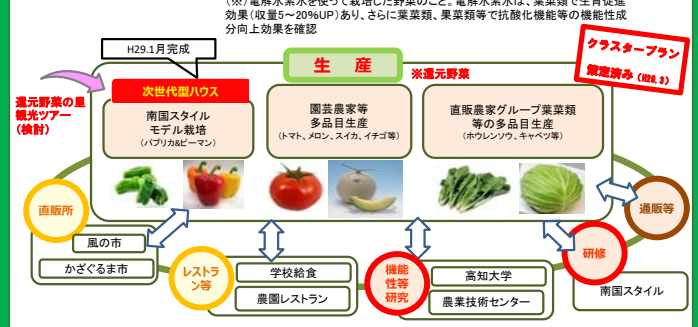
### ② 日高村トマト産地拡大プロジェクト(日高村)

・日高トマト生産団地の拡大の取り組みを核として、中山間複合経営拠点(\*)の整備も併せ、関連するJA出荷場、農産品加工施設、直販所、地元レストラン等が連携し、クラスターの形成を図る。



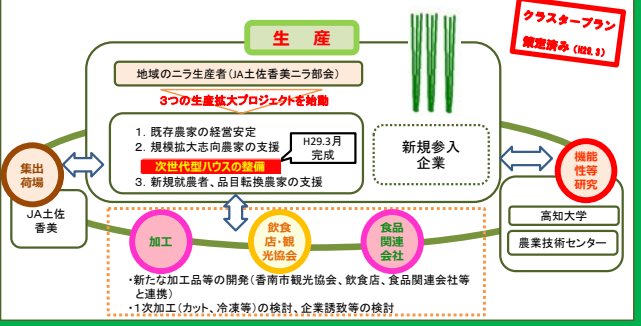
### ③ 南国市還元野菜プロジェクト(南国市)

・JA出資型法人「南国スタイル」を中心として、「還元野菜」(\*)の生産拡大を図るとともに、関連する直販所や農園レストラン等と連携した還元野菜販売や、メニュー提案等を実施することにより、還元野菜の里づくりを目指す。



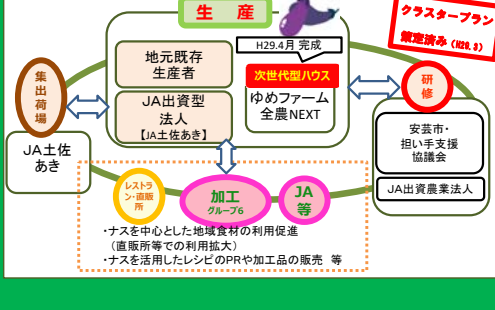
### ④ 日本一のニラ産地拡大プロジェクト(香南市・香美市)

・日本一の生産量を誇るJA土佐香美の生産拡大を目指し、3つの生産拡大プロジェクトに取り組むとともに、食品関連会社等の誘致を視野に入れた新たな加工品の開発、地元飲食店でのメニュー開発等により、クラスターの形成を図る。



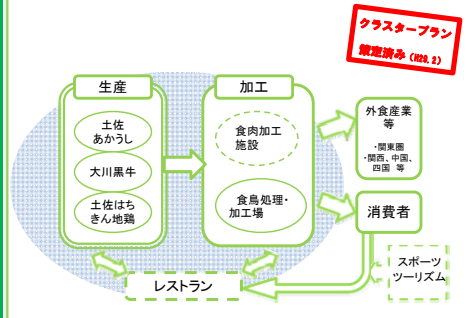
### ⑤ 日本一のナス産地拡大プロジェクト(安芸市)

・県東部の基幹品目であるナスの生産拡大を図るとともに、地域の直販所や飲食店等での利用促進、ナス料理や加工・特産品の消費拡大に取り組むことにより、クラスターの形成を図る。



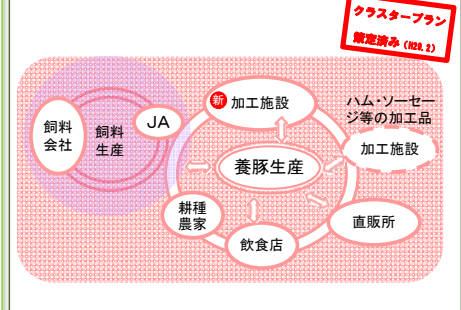
### ⑥ 横北畜産クラスターによる地域の活性化(横北地域全域)

・「土佐あかうし」「大川黒牛」「土佐はちきん地鶏」のさらなる生産拡大と6次産業化による付加価値の向上を図る。また、さくら湖や山岳岳頂を活用したスポーツツーリズムにより観光振興・交流人口の拡大を図りながら、レストラン事業の展開も検討する。



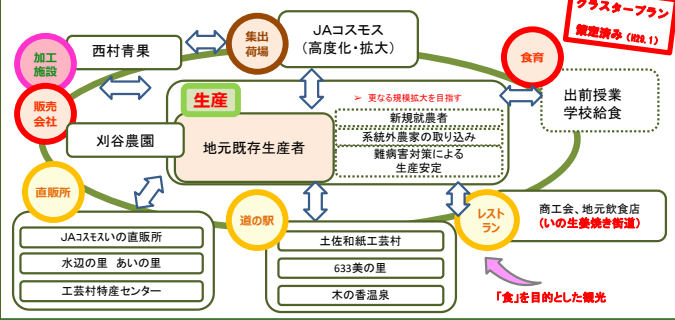
### ⑦ 四万十ポークブランド推進プロジェクト(四万十町)

・養豚農家の生産基盤の強化を図るとともに、関係機関が連携し安心安全な四万十ポークを消費者に安定供給できる体制を構築し、新たな6次産業化ビジネスの展開とあわせて地域の所得向上につなげる。



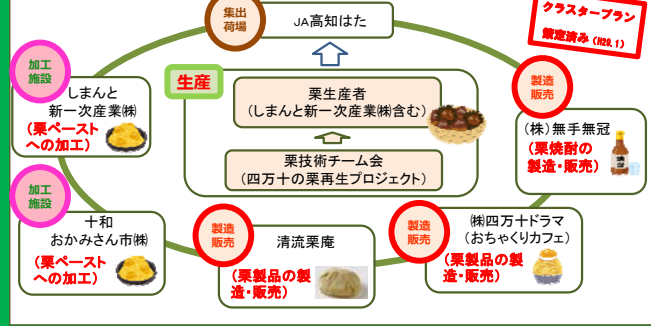
### ⑧ いの町生姜生産・販売拡大プロジェクト(いの町)

・いの町の生姜生産農家を中心として、生姜の集出荷場整備と併せ、地元加工業者や直販所、道の駅、学校及び商工会等が連携し、クラスターの形成を図る。



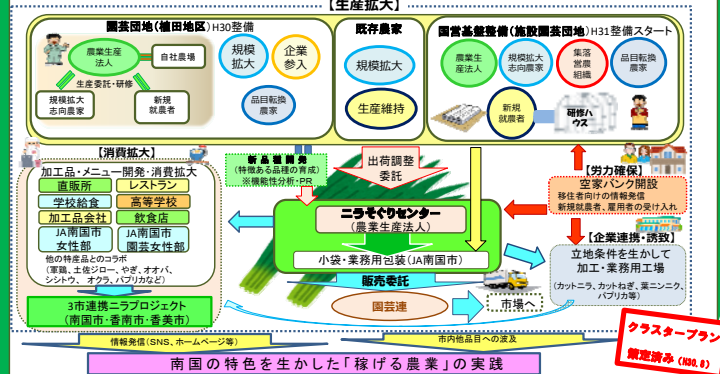
### 農業⑨ 四万十の栗プロジェクト(四万十町)

・四万十の栗再生プロジェクト協議会を中心として栗の生産拡大を図るとともに、ペースト加工施設、カフェ、栗焼酎販売会社等が連携し、クラスターの形成を図る。



### 農業⑩ 日本一のニラ産地拡大プロジェクト(南国市)

・農業生産法人が運営するそぐりセンターを活用し、地元農家や企業参入による生産拡大を図るとともに、直販所、レストラン、商工会等が連携し、クラスターの形成を図る。



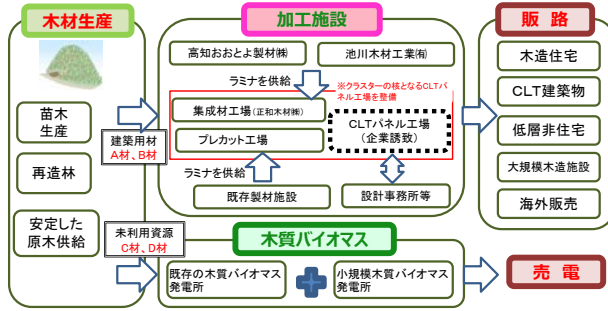
(注) 図中の点線で囲んでいる部分は想定です。実現に向けて、生産者団体や事業者、市町村等の関係者の皆様と検討を重ねていきます。

# 地域産業クラスターの形成 (展開図) ②

## 【林業】

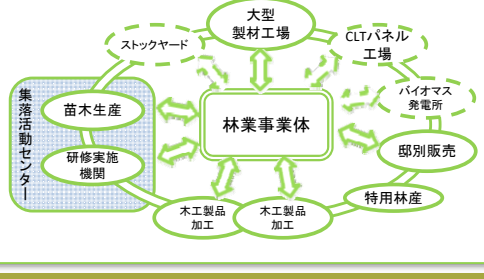
### ① 林業・木材産業クラスタープロジェクト(県下一円)

・木材加工を核として、木材生産から販売・再生産までの好循環を生み出す。



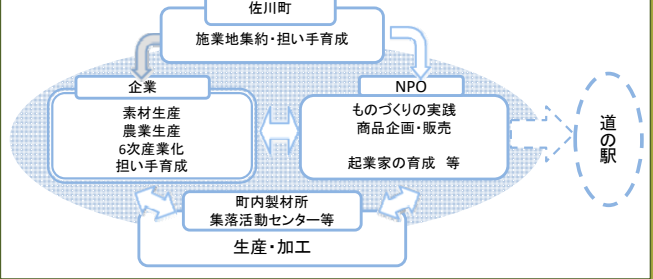
### ② 嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化(嶺北地域全域)

・嶺北地域の豊富な森林資源を余すところなく活用し、地域経済の活性化につなげる。



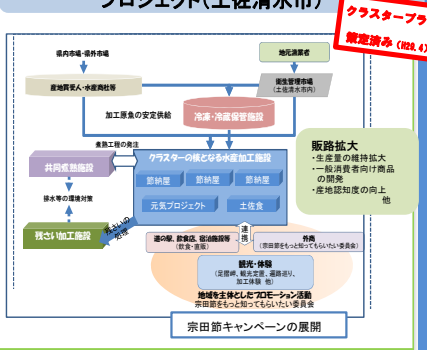
### ③ 佐川町で展開する自伐型林業での木材産業クラスター(佐川町)

・自伐型林業の取り組みを中心に、担い手の育成確保を含めた自伐型林業のビジネスモデルづくりのほか、町産材等を使ったモノづくりの人材育成や拠点整備、道の駅等の整備により町内の6次産業化を進める。

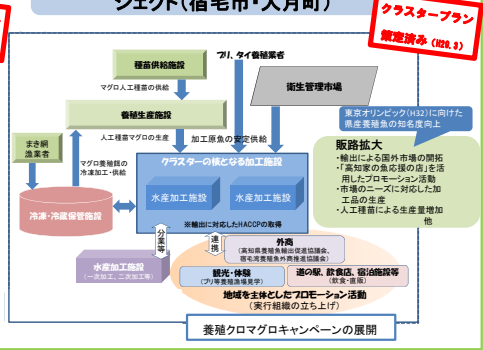


## 【水産】

### ① 土佐清水水産加工産業クラスタープロジェクト(土佐清水市)

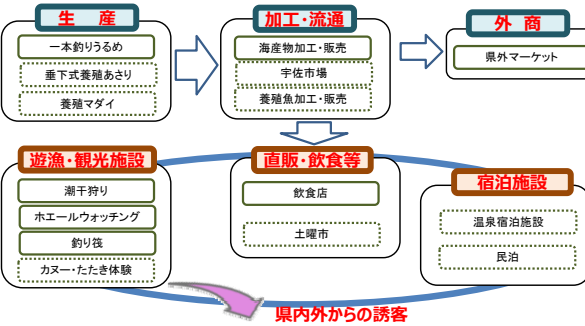


### ② 宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクト(宿毛市・大月町)



### ③ 宇佐・浦ノ内地区水産資源活用クラスタープロジェクト(土佐市・須崎市)

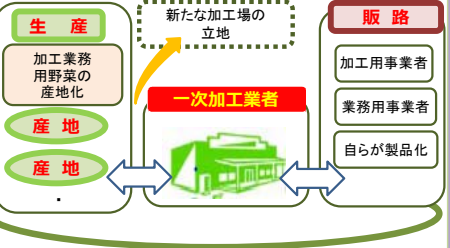
・うめいわし、あさり、ブランド真鯛の水産資源を活用した加工業や、ホエールウォッチング、釣り筏などの遊漁、周辺の宿泊施設等が連携してクラスターの形成を図る。



## 【食品加工】

### ① 加工・業務用野菜の産地化プロジェクト(県下一円)

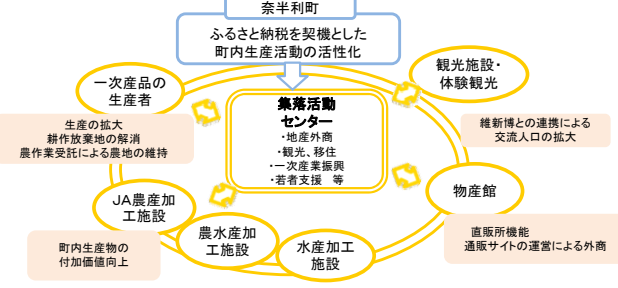
・需要が増加傾向にある「加工・業務用野菜」の産地化を進め、マーケットイン型の商品開発や「生産・加工・流通・販売」までの新たな仕組みの構築に取り組む。



## 【その他】

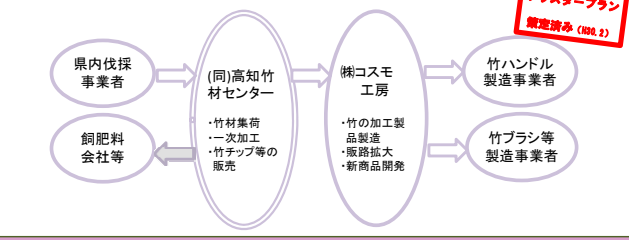
### 奈半利町の集落活動センターを中心としたクラスター(奈半利町)

・集落活動センターを拠点として、奈半利ブランドの確立と地域の所得向上につなげる。



### 竹資源の活用による中山間地域の新たな産業の創出(高知市)

・県産竹材を活用した製品加工の拡大とともに、竹材の集荷や一次加工、竹チップの販売など竹資源を活用した新たな事業展開を図る。



### 株式会社フードプラン、仁淀川町等を中心としたカット野菜事業クラスター(仁淀川町)

・新工場整備によって生産能力を向上させ、県外量販店や大手惣菜製造工場との取引拡大を図る。あわせて、流域食材のブランド化による観光振興、加工・業務用野菜の産地形成を推進する。

